

一 般 質 問 通 告 書

令和 5 年 5 月 29 日

前
午 9 時 33 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5 年 5 月 29 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 柴田 一雄

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市議会議員選挙における投票率向上と執行管理について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市議会議員選挙における投票率向上と執行管理について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>本年は統一地方選挙の年であり、投開票が4月9日と23日に行われました。投票率は9道府県知事選、41道府県議選、市町村議員選、町村長選のいずれも過去最低の結果に終わりました。</p> <p>総務省のまとめによると、4月9日に行われた9道府県知事選の平均投票率は46.78%（前回の平均投票率47.72%）、41道府県議選では41.85%（前回の平均投票率44.02%）。</p> <p>23日に行われた市議会議員選挙では44.26%（前回の平均投票率45.57%）、町村長選では60.79%（前回の平均投票率65.11%）でした。</p> <p>当市におきましても4月23日に投開票が行われました湖西市議会議員選挙では投票率は53.16%と4年前の投票率59.7%から下降傾向にあります。</p> <p>29ヶ所設置されました投票所におきましても投票率に大きな差があり、投票所が遠い、駐車場が少ない、投票所の外にポスターの掲示がない等の声も聞かれました。</p> <p>また、実際に選挙運動に携わった方々からは、選挙運動用ポスター掲示場が分かりにくかった、掲示板が倒れていてポスターの貼り付けが困難であった等の声も聞かれました。</p> <p>市議会議員選挙は国政選挙や首長選挙と異なり、立候補者が多く、多数の方々がボランティアや運動員として直接、選挙運動に関わる機会であり、選挙を身近に感じる機会でもあります。</p> <p>行政のデジタル化、人口減少、少子高齢化が加速する時代背景において、選挙のあり方も変革が求められております。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>投票所の設置状況や選挙運動用ポスター掲示場の設置要件、並びに選挙における実務の現状を確認し、執行管理について振り返り、投票率の向上、そして市民の方々へ選挙を分かりやすく身近に感じてもらうことで、誰もが選挙に参加しやすい環境を促進するため。</p>	

(質問事項)

1. 湖西市議会議員選挙の投票率をどのように受けとめているのか教えてください。
2. 投票所の設置数や各投票所の場所は対象となる有権者数に対して適切であるか、伺います。
3. 選挙運動用ポスター掲示場の設置要件はどのようなになっているのか教えてください。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月29日
午前 9時44分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 5 年 5 月 29 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 神谷里枝
(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	交通弱者対策の促進について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	交通弱者対策の促進について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市地域公共交通計画において「職住近接」を促進するためのポイントの1つとして、住環境の整備が挙げられております。公共交通は、買い物や通勤、通学、通院など市民生活において欠かせない役割を担っており、地域の暮らしと産業を支え、豊かで暮らしやすい地域づくり、「住みたい・住み続けたい」湖西市のまちづくりを進める上で「公共交通」は欠かせない存在です。持続可能な公共交通網の形成を図るため「コーちゃんバス」の現行の運行体制の見直しやデマンド型乗合タクシー「コーちゃんタクシー」の運行区域を市全域へ拡大する等、ニーズに応じたきめ細かな公共交通サービスを提供する事で、利便性と持続可能性の両立を目指した施策も展開されております。さらには、75歳以上の高齢者に対するバス及びタクシー利用料金の助成のほか、運転免許証の自主返納をした方に2年間の無料乗車券の交付も行っていますが、高齢化が進む中、返納者数も年々減少傾向にあります。</p> <p>また、令和2年度に、経済産業省が行う「地域新MaaS創出推進事業」の先進パイロット地域に選定され、鷺津駅周辺地区、新所原周辺地区にて実証実験、令和3年度は市公式LINEから乗車予約し、市内事業者と連携した消費誘導の取り組み等も行われております。このように担当部署は各種施策を始め市民ニーズに応えようと日々ご努力されていることは重々承知致しておりますが、交通弱者からは不満の声が多く、総合計画におきましても施策ニーズは重要度も満足度も低い分野となっており、費用対効果が今一つ感じられません。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>湖西市は旧6町村がそのまま点在している地形で、なかなか利便性の高い公共交通の整備は難題と捉え、まずは現時点での交通弱者の移動手段支援を手厚くしてはいかがかと考える。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コーちゃんバス及びデマンド型乗合タクシーにおける市民ニーズの現状と課題、今後の方針を伺います。 2. BaaS事業（市内企業が従業員のために運行しているバスに市民も予約をして利用可能）についての現状と課題、今後の方向性を伺います。 	

3. 公共交通網の整備が整うまで「誰もが安心安全で住みやすい、住み続けたいまちづくり」のための住環境整備の促進に向け「バス、タクシー利用料金助成」の対象年齢の引き下げや金額の増を図ってはとありますが、市のお考えを伺います。
4. 重度心身障害者タクシー料金助成制度が施行されていますが、高齢化による家族の負担軽減、社会参加の推進を図るため、対象者の見直しなどによる緩和を行う事についてのお考えを伺います。

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月29日

前
午9時45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年5月29日



湖西市議会議長 馬場衛 様

湖西市議会議員 加藤治司



質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	ごみ焼却施設再稼働に伴うごみ出しルール変更について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ごみ焼却施設再稼働に伴うごみ出しルール変更について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和6年2月からごみ焼却施設が再稼働し、市民生活に影響の大きいごみ出しルールが変更されるが、内容は下記1～3である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資源物として回収していたプラマーク品、白色トレイ、剪定枝・竹・草は燃やせるごみ(可燃物)として出す。 2. 新たに45リットルの燃やせるごみ袋を導入する。 3. 24時間いつでも出せる資源物回収拠点の使用を停止し、資源物(ペットボトル、飲料水缶、びん)は決められた日に出す。(新居地区は変更無) <p>又、大きな変更となる新ルールに基づき、新所・白須賀・橋本地区のごみステーションで、一か月間のトライアルを実施し、新ルールの評価と住民へのアンケート調査を行った結果、課題として、「1. 可燃物の種類が増える事に対し、狭いごみステーションでの容量不足の検証が必要。2. ペットボトルの回収は、コンテナ又はネット+コンテナが良い。」が報告されている。(廃棄物対策課への確認で、ペットボトルはネット回収との事。)</p> <p>現在のごみ出しルールでも守らない市民がいて、ごみステーション近くの住民は大変迷惑しており、新ルールの市民への周知と協力依頼が非常に重要である。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>新ごみ出しルールの実施において、市民の協力が得られるように、ルールを守ろうとする人への環境整備・守りたくても守れない人への対応・守らない人への対応・市民への周知・協力依頼について確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラマーク品、白色トレイ、剪定枝・竹・草の可燃ごみ化等に伴い45リットルサイズのゴミ袋を導入するなど、ごみ容量が大きく増加するが、狭いごみステーションでの容量不足の検証は実施したか。 	

2. ごみステーションの容量が不足した場合の対応を検討しているか伺う。

3. 現在でもルールを守らない市民がいる状況であり、さらに資源物回収拠点が使用停止となることから、決められた日に出す新ルールが定着するまで、ごみ出しルール違反者対策を検討しているか伺う。

4. 自治会未加入者は自治会で管理しているごみステーションの使用が出来るのか否か、湖西市の見解・対応を伺う。

5. 今後、市民への周知や協力依頼を実施すると思うが、市民に分かり易く啓発が進むような方法を検討しているか伺う。

例えば、①ごみステーションに新ルール説明版の設置。

②家内に掲示する新ルール啓発ポスター。

等

以上

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月29日

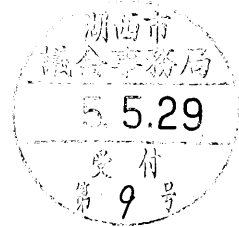
前
午 11時 40分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年5月29日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 荻野利明



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	国保税の均等割額について市の考えは
2	一人暮らしの高齢者を支えるために
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	国保税の均等割額について市の考えは
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>国民健康保険税は、所得割（所得に応じた金額）と均等割（加入者の人数に応じた金額）平等割（一世帯当たりの金額）の制度であり、子どもが増えると負担が増える制度になっている。この均等割について、市の考えを聞きたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>いま少子化が問題になっています。子どもを産めば産むほど負担が増える。これでは少子化対策に逆行した制度です。この制度を今後も続けていくのか聞きたい。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援の観点から見た国保税の均等割保険税に対する認識をどう考えているか。 2. 未就学児の均等割保険税の軽減措置を未成年まで拡大する考えはないか。 3. 均等割を廃止して、子育て世帯の負担を軽減する考えはないか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	一人暮らしの高齢者を支えるために
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>湖西市内の一人暮らしの高齢者がこれまで以上に増えることは簡単に予想される。もちろん元気に暮らす高齢者もいれば、病気を抱えた高齢者、経済的問題を抱えた高齢者も居ます。こうした高齢者をどう支えていくのか心配です。増え続ける一人暮らしの高齢者が安心して暮らせるようにしていただきたい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>一人暮らしになっても安心して暮らせる湖西市になってほしいから。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現在、湖西市内に住む一人暮らしの高齢者が何人いるのか（男女別）教えてほしい。また、この内、生活保護世帯は何人いるのか。 2. 一人暮らしの高齢者にとって心配なこと、悩み事など相談できるお隣さんがいることが大切です。ところがなかなかそうしたお隣さんがいない、できないなど相談事があってもどこに相談すればいいのかわかりません。身近な相談はどこへ行けばいいのか。 3. 行政のデジタル化が進むと高齢者にとって何が何だかわかりません。こうした高齢者にどう対応していくのか。 	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和5年5月29日

前
午11時45分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和5年5月29日



湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 寺田 悟



(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	中学校部活動の地域移行について	
2	減災、犯罪抑止に向けた防犯カメラの活用等について	
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	中学校部活動の地域移行について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>教職員の働き方改革により国が2023年～2025年度を「改革推進期間」と位置づけし、県や市の教育委員会をはじめ各関係機関が連携して中学校部活動のスムーズな地域移行と経済的・質的格差の解消実現に向けて鋭意取り組んでいるところと存じます。</p> <p>令和4年12月定例会における一般質問に対する答弁において「協議会を立ち上げて検討していく」とのことでありましたので、協議会の概要を伺うとともに、地域移行に係る課題を確認させていただきます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>生徒やその保護者に負担を掛けることなく、スムーズな地域移行が図られるよう進捗状況や課題を確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 協議会の設置時期、構成、協議スケジュールについて伺う。 2. 本件は、教職員の働き方改革である一方、子育て支援、中学生が地域住民や高齢者等と係わることによる地域活性化、市民の連帯意識の向上にもつながり、市の未来にもかかわる重要案件と考えられ、中学校部活動の地域移行が成功するか否かは行政側の手腕次第とも言えるが、市役所内において関係部署による横断的な組織体制は作られているのか。 3. 現時点において市として把握している課題を伺う。 4. 地域移行に当たっては、生徒や保護者、地域の既存クラブ等、当事者の意見を聴くことが重要と考えるが、どのように把握していくのか。また、その結果をどのように公開するのか。 5. 中学校部活動における各種大会の受賞記録は、当該中学生の調査書の顕著な実績に反映されているが、地域移行後も同様なのか。 <p style="text-align: right;">以 上</p>	

番号	主 題
2	減災、犯罪抑止に向けた防犯カメラの活用等について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>近年の問題である少子高齢化、人口減少、経済活性化への対策である「職住近接」の移住定住を推進するには、市民の皆様が「安心して安全に暮らすことができるまち」であることが必須条件の一つであることは言うまでもありません。</p> <p>街頭防犯カメラを活用し、沿岸の主要地点や主要道路、主要交差点、ハザードマップに基づく被災予測主要地点、各公共施設及び同周辺に遠隔操作並びにモニタリングシステム、市、消防、警察がお互いにリンクし情報共有できるシステムがあれば、市民に対する安全な避難誘導、迅速な救援救助、的確な二次災害防止措置等、市民の命に係わる早急な対応が可能になると考えます。</p> <p>また、事件や事故が発生した場合には、その後の事件捜査や真相の究明に大いに役立ち、犯人の早期検挙、真実の早期解明につなげることは、被害者とその家族、一般市民の不安を解消し安心安全の平穏な生活を取り戻すことにもなります。</p> <p>近年では、闇バイトによる高齢者宅を狙った住宅侵入の強盗殺人事件や強盗傷害事件が多発しているほか、高齢者を狙った訪問型特殊詐欺事件も未だ後を絶ちません。こうした悪質な犯罪者達から身を守り、大切な財産を守るためには、各家庭における防犯対策が必要不可欠と考えます。こうした防犯対策を加速推進するに当たっては、経済的負担を軽減するために各家庭への補助金制度の導入が必要と考えます。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>街頭防犯カメラの活用や各家庭における防犯対策に係る補助金制度を導入し、減災や犯罪抑止を図ることを目的とする。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湖西市における公共の防犯又は防災カメラの設置箇所数と設置台数、録画映像の確認方法について伺う。 2. 防犯又は防災カメラを増設していく考えはあるか。 	

3. 大震災発災時や大規模事件事故発生時における市、消防、警察等の関係機関での防犯カメラの画像情報共有の必要性についてはどのように考えているか。
4. 市民の生命と財産を凶悪卑劣な犯罪者達から守るために家庭用防犯カメラの設置、窓ガラスの強化ガラス化、センサーライトの設置等セーフティ住宅化支援となる「家庭用セキュリティシステム設置補助金制度」の早期導入が必要と考えるが如何か。

以 上